

2017年2月28日
株式会社みずほ銀行

バンコック支店プノンペン出張所開設認可の取得について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、このたび、カンボジア王国（以下「カンボジア」）現地当局より出張所開設の認可を取得しました。これを受け、2017年前半の拠点開設に向けて具体的な準備作業を開始します。なお、カンボジアにおける出張所開設は、邦銀では初となります。

カンボジアは、経済発展が著しいメコンデルタ地域において、ひととき大きな経済規模を誇るタイとベトナムを結ぶ南部経済回廊の要衝に位置し、1993年の新生「カンボジア王国」の誕生以降、政治面の安定と高いGDP成長率（年率6%強）を維持しています。

また、外資規制が比較的少なく、インフラ整備も進んでいることから、「チャイナ・プラスワン」、「タイ・プラスワン」の候補地として、日系企業の優先順位が高い国としても定着しつつあります。

当行は、2013年7月にプノンペン駐在員事務所を開設し、同事務所を通じてお客さまへのカンボジアに関する情報提供等を行ってきました。同国への進出・事業拡大を検討するお客さまが増加していることから、このたび、プノンペン出張所を開設し、母店であるバンコック支店のリソースを活用して、預金・貸出・インターネットバンキング等の金融サービスを提供していきます。

〈みずほ〉は、プノンペン出張所の開設を通じ、お客さまの同地への新規進出・事業展開をお客さまの近くで力強くサポートしていくとともに、カンボジアの産業・金融市場のさらなる発展や人材育成にも貢献していきます。

以 上